

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届出時からの伴走型相談支援を実施するとともに、妊産婦・子育て世帯への経済的支援を行う市町村に対し助成した。 ・子育て中の父親や企業経営者を対象としたセミナー等による男性の子育て参画を通じ、社会全体で子育てを応援する機運の醸成を図った。(男性の子育て参画推進講座2地域、イクボスセミナー2回) ・子育て・高齢者世帯住環境整備事業の認知度向上のためPR活動強化を行った結果、188件の利用があった。(前年比112%)
②	<ul style="list-style-type: none"> ・保育現場の働き方改革を推進するため、施設長・主幹保育士向けの研修を行い、機運の醸成を図った。(施設長・主幹保育士向けそれぞれ6回開催、14園参加) ・保育コーディネーター養成研修は、新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、日程や実施方法を変更して実施した。(46名認定) ・保育士等キャリアアップ研修は、保育士等の職務内容等を踏まえた体系的な研修を実施し、専門性の向上を図った。(7回開催、585名修了)
③	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して病気の子どもを預けられる環境を整えるため、病児保育を実施する市町村に対し、運営費の助成を行うとともに、国東市における病児保育施設の新規開設に伴う整備費の助成を行った。R3.10月から開始した市町村間の相互利用とWEB予約サービスの施設への導入支援を行い、広域化・ICT化を推進した。利用促進のため、子育て世帯向けの無料情報雑誌に広告記事を掲載した。 ・県で養成した働き方改革アドバイザーを活用し、企業経営者等を対象としたセミナー・個別相談会やモデル企業へのアドバイザー派遣を行い、県内企業の働き方改革の取り組みを支援した。また、優れた成果が認められる企業の表彰等を実施した。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(4年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①	おおいた子育てほっとクーポン利用促進事業	91.9	12
	大分にこここ保育支援事業	96.2	12
	地域子ども・子育て支援事業	91.2	12
	放課後児童対策充実事業	97.7	13
	放課後児童クラブ施設整備事業	133.1	13
	おおいた子育て応援スクラム事業	88.7	13
	子育て・高齢者世帯住環境整備事業	125.3	14
②	県営住宅子育て環境整備事業	-	14
	保育環境向上支援事業	93.4	14
③	保育の資質向上事業	115.0	15
	病児保育充実支援事業	100.0	15
	働き方改革推進事業	102.0	258

【VI. 施策に対する意見・提言】

OR4年度第1回おおいた子ども・子育て県民会議(R4.7)
 ・男性の子育てについて、上司と部下との間に意識の乖離があるのではないか。

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
B	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世帯の多様なニーズに対応するため、地域で活躍する子育て応援活動リーダーの養成を図る。 ・「伴走型出産・子育て応援事業」の制度創設に伴い、R5年度以降のおおいた子育てほっとクーポンについては、市町村と調整のうえ発行しないこととした。ただし、既に発行しているクーポンについては、引き続き、市町村と連携し、子育て世帯の利用促進を図る。 ・病児・病後児保育について、施設整備費や運営費の助成を行う。また、利用者が使いやすい仕組みにするため、R3.10から広域化とICT化を開始したが、市町村や関係機関と連携し、ICT化を導入していない施設に対して働きかけを行う。 ・保育士試験受験対策講座を開講し、保育補助者や子育て支援員などの保育士資格取得を後押しする。 ・県で養成した働き方改革アドバイザーを活用し、引き続きセミナー・個別相談やアドバイザー派遣等を行い、働き方改革に取り組む企業を支援する。 ・特に、男性の育休取得促進を図るため、県内企業へ働き方改革アドバイザーを派遣し、社内環境整備の支援や先進事例の紹介等を行う。 ・子育てしやすい住宅の整備を推進するため、セミナー等によりリフォーム助成制度を広く周知するとともに、多様化するニーズの把握に努め、制度の見直し等も検討する。